



いちょう

発行日 平成28年12月12日
発行者 小山市立福良小学校長
中島 利雄

「全校休業」から授業再開へ

11月21日(月)の週から、インフルエンザに感染する児童が始め、28日(月)には、全校児童62名中約3分の1にあたる23名が感染したため、児童の健康を最優先に、学校医と相談し、感染拡大防止のため翌29日(火)から12月2日(金)までの4日間を全学年にわたり、臨時休業(学校閉鎖)とする措置をとらせていただきました。保護者や地域の皆様方にはご心配をおかけしましたが、12月5日(月)からは、平常通り授業再開することができました。なお、11月30日(水)に予定していた「心を育てる学校教育の日・道徳の時間の授業全クラス公開」と学級懇談については、12月14日(水)に延期させていただきましました。どうぞよろしくお願い致します。

1・2年生3校合同生活科交流学习開催

12月9日(金)、福良小に梁小・延島小の1・2年生が集まり、3校合同による生活科の交流学习を行いました。これまで、3年生以上は、3校合同での校外学習、宿泊学習、臨海自然教室、修学旅行などの機会がありましたが、低学年にはありませんでした。そこで、絹義務教育学校開校を控え、来年度から一緒に学年になる児童の顔と名前を知ることや通学する福良小の校舎内を知ること、事前に交流を自分紹介の後、3校混合のグループを編成し、福良小の児童が説明役となって、ウォークラリー形式でチェックポイントごとにスタンプをもらいながら「学校探検」を行いました。最後に、4月に開花するチューリップの球根を、校庭の花壇とプランターに一人1つずつ植えました。



「くらしに身近なお金の情報」を学ぶ

12月8日(木)、5年生が栃木県金融広報委員会の金融広報アドバイザーによる出前授業を受け、「正しい金銭感覚の身につけ方」や「上手なおこづかいの使い方」などについて学びました。金融広報アドバイザーは、日本銀行、政府機関、栃木県、県内金融経済団体などと協力しながら、「くらしに身近なお金の情報」を、中立・公正な立場から広めていこうという活動目的・社会的意義に賛同して自主的に参加しているボランティアの方々です。

義務教育学校開校に向けて・・・「絹義務教育学校後期課程新入生説明会」開催

12月6日(火)の午後、来年度入学予定者への説明会(オリエンテーション)が絹中学校で開催され、福良小・梁小・延島小の6年生の児童と保護者が出席しました。学校生活のきまり等に関する全体の説明の後、授業の様子や部活動の練習の様子等を見学しました。

